会　議　記　録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、

次のとおり会議記録を公表します。

| | |
|---|---|
| 会 議 名 | 石清尾山古墳群調査整備会議 第８回整備部会 |
| 開催日時 | 令和５年８月３０日(水)１３時３０分～１６時 |
| 開催場所 | 高松市埋蔵文化財センター２階 講座室 |
| 議　　題 | 議題１　（１）　石清尾山古墳群保存活用計画 |
| 公開の区分 | ■　公開　　□　一部公開　　□　非公開 |
| 上記理由 | |
| 出席委員等 | 上杉委員（京都府立大学准教授）、大久保委員（徳島文理大学教授）、山中委員（香川大学教授）、林委員（元兵庫県立大学大学院特命教授） |
| 欠 席 者 | なし |
| 傍 聴 者 | ０人（定員１０人） |
| 担当課及び連絡先 | 文化財課（文化財調査係）<br>８２３－２７１４ |

| 審議経過及び審議結果 |
|---|
| 審議経過及び結果<br>　議題１を設定し、保存活用計画の策定に向けた事業計画の見直しを中心に以下の意見を得た。⇒以下は事務局の回答。<br><br>議題１　史跡石清尾山古墳群保存活用計画<br>　（１）経緯と経過、周辺状況の変化について<br>　　⇒資料を基に本会開催までの経緯を説明。<br>　（２）保存活用計画の見直し、今後のスケジュール案について<br>　・見学デッキの整備を廃止としており、代替え方策としてドローン画像の活用等が挙げられているが、現地訪問の迫力は重要な要素である。廃止とせず、中長期的に検討する課題として再整理できないか。<br>　　⇒当面の代替策として画像の活用を行うことを明記するとともに、中長期的課題として見学デッキの整備の検討を加筆します。<br><br>議題２　その他<br>　（１）保存活用計画全体の構成や記述について<br>　・事業実施計画についての整理は理解できるが、短期的課題に集中したためか、史跡全体の目指すべきビジョンとしての記述が不足している。<br>　・保存管理と史跡の価値に関する記載は充実している一方で、活用に関する記載が充実していない。<br>　・活用の効果が最大化されるために、文化財としての活用は重要であるがそれ以外の一般市民への普及効果を意識した多様な視点からの活用に関する記載の充実が必要である。<br>　⇒大綱、活用、活用のための整備に関する章に追加記載いたします。 |

| 審議経過及び審議結果 |
| --- |
| ＊上記の意見を踏まえて計画案全体を修正した上で、計画策定に向けて事務を進めていく予定である。 |